

今朝は、^{ふげんぼさつ}普賢菩薩さまについてお話致します。

「困っている人がいたら助けてあげましょう」

その意味は子供にでも理解でき、誰もが善い行いであると感じる事柄でしょう。

ところが、^{こんにち}今日のように何もかもが便利な世の中では、困っている人に直接手を差し伸べるという事は少なくなってきているのかも知れません。

例えば、一昔前までは、道に迷ったら見ず知らずの人に声を掛けてでも尋ねなければなりません。でも、^{こんにち}今日では多くの人が携帯電話を持っています。電話をかけて知人に尋ねたり、GPS機能がついていれば、画面の地図を見ながら目的地に行くことができます。

便利な物を使えば、他人に助けてもらわなくても問題は解決します。

けれども、考えてみてください。自分が手にしている携帯電話は、誰が作ったのでしょうか？ またGPS機能に必要な衛星を管理している人は、どんな人でのくらしいのでしょうか？ 便利な世の中というのは、一見、一人でも生きていけると勘違いをさせてしまいがちです。しかし実際には、数え切れないほど多くの人が、私たち一人ひとりのことを助けてくれているのです。

これは、私たち一人ひとりの生活が、いかに多くの人たちに支えられているか、ということでもあります。普段は気が付かずに生活をしていますが、これは紛れもない事実なのです。では、支えあって成り立っている世の中で、私たちはどのように助け合って、生きていったら良いのでしょうか？

そんな時に教えを示してくださるのが、^{ふげんぼさつ}普賢菩薩さまです。「三人寄れば^{もんじゆ}文殊の^{もんじゆぼさつ}知恵」の^{もんじゆぼさつ}文殊菩薩さまと共に、お釈迦さまの^{まつ}両脇に祀られることが多い、^{じひ}慈悲を象徴する菩薩さまです。

普賢菩薩さまは、人々を助けようという願いを持って生きること、誓いを立てて生きることを私たちに勧めてくださいます。白い象に乗っていらっしゃることが多いのですが、それは、どんなに歩みがゆっくりであっても、どんな状況にあっても、必ず一歩ずつ進んでいくことの力強さを物語っています。

ぜひ、普賢菩薩さまの事を心に念じて、一日一日を大切に過ごしてください。普段から心して自らの優しい気持ちで人に接すれば、それは必ずや他の人の助けになります。あなたが人を救おうと思う尊い心掛けは、世の中を巡り巡りって世界中の

人たちを幸せにするでしょう。

人を助けようという願い、誓いを持って今日きょうの一日を大切に過ごすこと、それが
普賢菩薩みおしさまの御教えなのです。

— 終 —